

播磨 ミステリーハント

播磨町の歴史や偉人の「?」と「!」について、秘められたトピックスなども交えながら紹介します。

文責 播磨町郷土資料館 宮柳靖
☎079(435)5000

Mystery.5

「横文字の墓」に二つの建立年!?

慶応4年9月8日(1868年10月23日)、睦
仁天皇の即位により「明治」と改元されま
したが、法律上は慶応4年1月1日(1868年1
月25日)に遡って明治元年となりました。

この年、ジョセフ・ヒコ(浜田彦蔵)は、故郷の古宮村に立ち寄り家族の安否を尋ねています。当時の暦は、月の満ち欠けと太陽の周期で季節を調整した「太陰太陽暦」が使われていました。現在は、地球が太陽のまわりを1周する時間を1年とした「太陽暦」を使っているため、このような表記にしています。

ところが、開国した日本にとって、この暦のズレは深刻な問題で、福沢諭吉をはじめ改暦を求める声は日増しに大きくなっていました。明治政府は、明治4年密かに「太陽暦」採用の検討を始め、翌明治5年11月9日(1872年12月9日)に改暦詔書を出しました。それは、「明治5(1872)年12月3日をもって、明治6(1873)年1月1日とする」という布告(発表)から施行(実施)までわずか23日という早さでした。しかも、新政府は改暦にあたりほとんど広報をせず、新しい暦も出さなかったため、当時は大変混乱したようです。このスピード実施の背景には、明治政府の危機的な財政状況がありました。産声を上げたばかりの明治政府にはお金がなく、官吏(職員)の給料を支払うにも苦勞する有様でした。



▲蓮花寺にあるジョセフ・ヒコの両親の墓
背面には西暦で刻まれた英文があります

旧暦の明治6年は、閏月があり1年が13ヵ月で、官吏の給料を13回支払わなければならないから、他にも出費がかさむことから、改暦の気運が一気に高まりました。しかも、改暦を12月初めにすれば、12月の給料までも節約できると考え、半ば強引に実施したのです。当時の新聞には、「十五日には仲秋の月がなく、三十日に月が出るようになった」と書かれています。さらに、深刻だったのは農家で、暦から行事や風習の記載がなくなったため、種まきから収穫までさっぱり見当がつかず困ったようです。

改暦の2年前にヒコが建立した「両親と家族の墓」、通称「横文字の墓」は、建立年が旧暦と新暦で刻まれた珍しいお墓です。向かって右側面に「明治三年十一月」、裏側には「December 1870」と刻まれています。播磨町本荘の蓮花寺にあるお墓に行かれたときは、ぜひご覧ください。ちなみに英文は、ヒコがデザインしたものを石工に彫らせたようです。



町の人口 7月1日現在		住民基本台帳人口+外国籍人口。()は前年比。	
34,714人(-42人)	男...17,011人(-27人)	女...17,703人(-15人)	世帯数...14,232世帯(-13世帯)